

平成20年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、平成20年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、現場の視察、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評価の視点	評価	評価コメント
評 価	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	良い	教育課程については、これまでの学校運営のなかで学則の見直しが適切に行われ選択教科等の多様化が図られて、生徒の特色に応じた教育に向けた対応がとられており評価できる。 進路指導等についても面談を交え、細やかな指導が行われているが、より一層の充実を図り、着実な成果の拡大を期待する。
	生徒の状況	生徒指導等の状況 生徒の人格的発達の状況 安全管理の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況	良い	生徒指導については、生徒個別に相談・サポートもよく行われていることがうかがえ評価できる。 今後、生徒数が増加した際にも、生徒指導、教育相談、健康管理等に対応可能な一層充実した体制づくりを望む。
項 目	学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	良い	目指すべき教育目標を明確にした取り組みが行われている点について、一定の評価ができる。目標達成に向け設置者と学校の連携強化を一層望む。 教員の研修等についても実施されているが、更なる教員の資質向上のため研修体制の充実と、学校関係者評価の組織づくりが必要であると考えている。
	学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況	良い	設立一年目ではあるものの、地域イベントへの参加やスクーリング時の相生市への関わりなど、地域との連携が図られており評価できる。 家庭との連携については、通信制高校では困難な面もあるが、電話でのやりとりを始め、学校だよりや懇談機会などを通じ保護者との連携を取っている点は評価できる。

学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	良い	現状では地域への大きな経済効果は見えてきていないが、スクーリングや地域行事への参加などにより、市の活性化に寄与していると考えられるため評価できる。 また、設立一年目にも拘らずテニスの分野での活躍が大きく、知名度アップに関しては大いに評価できる。
市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	良い	市と学校との連絡や報告といった分野では誠実に連携が図られており評価できる。 セーフティネット対策についても新たな連携や多様化を行うなど更なる充実を図られたい。

総括・課題	<p>相生学院高等学校評価基準に基づき総合的に評価を行った結果、生徒への教育面では一定の基準はクリアしており評価できるものがあると考えます。しかし、個々には改善または速やかに実施すべき事項も見受けられるため、その取り組みの向上を図っていただきたい。</p> <p>学校運営の中で特に評価できる点としては、次の2点である。</p> <p>1点目は、スクーリング時に地域行事等へ積極的に参加し、地域との連携を図っている。</p> <p>2点目は、テニスなど特定分野での活躍に見られるように生徒の目的に合った教育の成果が出ている。</p> <p>この2点は非常に優れており、職員を始め関係者の努力が感じられる。今後も継続して取り組んでいただきたい。</p> <p>一方で、教育・組織の体制強化を行うにあたっての確固たる基盤を確立するため、経営面の安定化を高める必要があると思われる。そのために生徒数の増加への取り組みを一層進めていただきたい。</p>
-------	--

評価項目については、「模範的」、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」の基準で評価しています。